

施策分析シート（平成25年度）

No1

施策名	バリアフリー化の推進	施策No	02-09	部課名	防災都市づくり部交通対策課	課長名	平野	内線	2720
関連部課名									
行政評価 事業体系	分野	生涯健康都市[]							
	政策	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成[02]							
目的	だれもが安全で安心して暮らせるよう、様々なバリアフリー化を推進する。								
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明		
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)			
	バリアフリー基本構想策定の進捗率	70%	80%	90%	100%	100%	区全体基本構想策定：60%、重点整備地区別計画策定：1地区につき10%増		
現状と課題 (指標分析)	●近年、各鉄道駅施設内のバリアフリー化は進んできているが、駅周辺地区のバリアフリー化が未だ十分ではない状況にある。 ●これまでの交通に関するバリアフリー化だけでなく、高齢者や障がい者・子育て世代等、だれもが安全で安心して暮らせる様々なバリアフリー化を図る必要がある。								
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ●平成21年度にバリアフリー新法に基づく区全体のバリアフリー基本構想を策定し、4つの重点整備地区を設定した。平成22年度には町屋駅・区役所周辺地区、平成23年度には日暮里駅・西日暮里駅・三河島駅周辺地区、平成24年度には南千住駅周辺地区のバリアフリー基本構想を策定した。平成25年度に熊野前駅周辺地区のバリアフリー基本構想を策定し、4つの重点整備地区の基本構想策定が完了する。 今後は、各重点整備地区の基本構想に定めた特定事業計画の進捗状況を管理しながらバリアフリー化を推進していく。								

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
重点的に推進	重点的に推進	公共交通網の整備を推進するとともに、だれもが安全で安心して暮らせるよう様々なバリアフリー化を図る必要がある。

施策分析シート（平成25年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
バリアフリー整備促進事業	09-03-01	7,545	7,248	重点的 に推進	重点的 に推進	高齢者等の移動や施設利用の利便性を 確保するための最優先の事業である。
日暮里駅総合改善事業 （再掲）	09-03-02	（ - ）	（ - ）	継続	継続	日暮里駅整備㈱の適切な運営に関する 調整を行う。
合 計		7,545	7,248			